

急性期医療を担う主な医療機関（平成24年6月現在）

	医療機関	急性期に求められる医療機能			
		専門的診療 の24時間 対応	心臓外科と の連携	ICU/CCU等	PCPS等 (心肺補助 装置)
福井・ 坂井	福井県済生会 病院	◎	○	◎	◎
	福井県立病院	◎	◎	◎	◎
	福井循環器 病院	◎	◎	◎	◎
	福井赤十字 病院	◎	○	◎	◎
	福井総合病院	◎	○	○	○
	福井厚生病院	◎	○	○	◎
	福大医学部 附属病院	◎	◎	◎	◎
丹南	中村病院	◎	○	○	◎
嶺南	市立敦賀病院	◎	○	○	◎
	公立小浜病院	◎	○	◎	バルーンパン ピングで対応

※上記の医療機関では、「精神科との連携」、「心電図検査等への対応」が行われています。

「心臓外科との連携」欄・・・「◎」は併設、「○」は他医療機関へ搬送
 「ICU/CCU等」欄・・・「◎」は保険診療上の施設基準を届出済み
 「PCPS（心肺補助装置）」欄・・・「◎」は時間外対応が可能

※24時間体制ではないものの、急性期の医療に対応する医療機関もあることにご留意ください。

◆第5次保健医療計画に記載する急性期医療機関に求められる事項

- 専門的診療が可能なチーム（専門医師、看護師、臨床検査技師〔血液生化学検査〕、臨床工学技士〔生命維持装置の操作〕、診療放射線技師）による休日を含めた24時間対応ができること。
- 冠動脈バイパス術等の実施が可能な心臓外科を設置し、または心臓外科がある医療機関へ速やかな搬送を行い、連携がとれること。
- CCU（冠動脈ケアユニット）およびそれに準ずるICUなどの重症病床が整備されていること。
- 心肺補助装置（PCPS）や大動脈内バルーンパンピング（※）などの補助循環装置を整備し、それらを円滑に運用できること。
- 精神科（またはそれを有する医療機関）と連携がとれていること。
- 回復期の医療機関と連携がとれていること。

※ 大動脈内バルーンパンピングとは、心臓につながる大動脈にバルーンを挿入し、拍動にあわせて拡張・縮小させることで、血行を強化する方法です。